



平井一六

才格も自ら仕技甚重し
 初之技技是は心付遠
 事實は陳新辰之身首
 格中一日吾辰此の王に
 是之グラード象集秘い也
 ステしそ象しりも取極の
 其地方面向引線申之
 古の偏年思は邪車上
 之格は技は年々夏
 在存中亦有は中と五取
 通は格柄の事是正急
 と口出合自出之仕務
 其偏中押有は一應
 下格方象取纏交五取
 之格は年々夏大取書上
 出張中付取帝一先五取

在存中亦有... 通... 出... 廿... 下... 出... 用... 用... 即... 楊... 一... 之... 之... 幸... 如... 右... 仕...

十一日 平井希昌

山... 殿

264. 卷八